

# 国語科指導のポイント [小学校編]

---

県南教育事務所

## 学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善のポイント

### 【指導計画】

- 指導事項の重点化(何を身につけさせるのか。)
- 言語活動の位置づけ(最適な言語活動は何か。)

### 【指導方法】

- 一連の学習過程を明確化(単元の流れを意識化)する。  
例 課題設定や取材 → 構成 → 記述 → 推敲 → 交流
- 次の学びにつながる言語活動の位置づけ(言語活動の楽しさ、有効性、系統性の重視)
- 思考力・判断力・表現力につながる言語活動(活用する力を育てる言語活動になっているか。)

### 【評価】

- 年間を見通した単元構想を踏まえた評価の工夫(「分かる」→「使える」へ)
- 言語活動を通した評価の工夫(評価資料の累積・活用を図っているか。)

## 話す・聞くことの指導

### 聞くことの指導

学年	単元の構成	言語活動例
1年	ともだちに、きいてみよう	身近な人へ取材をし、それを紹介する。
2年	ともこさんはどこかな	大事なことを聞き落とさず、対話する。
3年	よい聞き手になろう [コラム]きちんとつたえるために	友達に質問したり、感想を伝えたりする。
4年	聞き取りメモの工夫	話を聞きながらメモを取る。
5年	きいて、きいて、きいてみよう	インタビューをして報告する。 （「聞く」と「訊く」）
6年	未来がよりよくあるために [資料]平和のとりでを築く	互いの意見を聞き合って、考えを深める。

※ 平成27年度版 光村図書より

## 話す・聞くことの指導

### 聞くことの指導

「聞く力」を育てる機会や場の提供

- ① 聞きがいのある話を提供し、聞くことが楽しいと実感させる。
- ② 話題に关心を持たせ、自分の考えを持たせながら聞かせる。
- ③ 相手の話を受けて返すことを習慣化させ、その喜びを味わわせる。
- ④ 話を聞いたことで、新しい考えが開けていく知的な楽しさを実感させる。

自分の考え方と照らし合わせながら批判的に聞く。  
(本当にそうだろうか。こんな考え方もあるのでは…)

新しい考え方を生み出しながら聞く。  
(そうだ。いいこと思いついた。)

情報を正しく整理して聞く。  
(なるほど、そういうことか。)

## 話す・聞くことの指導

### 話すことの指導

学年	単元の構成	言語活動例	
1年	なつやすみのことを行なう	話す事柄を順序立てて話す。	
2年	大好きなもの、教えたい あつたらいいな、こんなもの	「はじめ」「中」「おわり」などの順序 を考えて話す。 絵を見せながら、話す。	プレゼンテーションの要素
3年	しりょうから分かる、小学生のこと	わかりやすい発表の仕方を考え、 資料や発表メモを生かして話す。	
4年	だれもが関わり合えるように [資料]手と心で読む	調べたことを整理して発表する。	
5年	すいせんします	内容や構成を考えて、説得力のあるスピーチをする。	
6年	今、私は、ぼくは	効果的な資料を提示しながら、内 容や構成を考えてスピーチする。	↓

※ 平成27年度版 光村図書より

## 話す・聞くことの指導

### 話すことの指導

#### 独話(スピーチ)の指導

- ① 紹介: 読んでおもしろかった本を紹介する。自分の宝物を紹介する。
- ② 報告: 夏休みの出来事を報告する。決まった内容を報告する。
- ③ 説明: おもちゃの作り方や野球のルールを説明する。
- ④ 主張: 案を提案(プレゼンテーション)する。自分の意見を主張(スピーチ)する。

- ・聞き手に届く声で話す。
- ・一文を短く話す。
- ・まず、全体の内容を伝えてから話す。
- ・ナンバリングし、順序立てて話す。(例: 今から3つのことを説明します。)
- ・つなぎ言葉を使う。(例: まず、次に、つまり、例えば、さらに)
- ・話の道筋を示す言葉を入れる。(例: ここからがポイントです。)
- ・五感を使った描写やオノマトペ(擬音語や擬声語)、比喩を入れる。

継続的な場の提供、  
録音や録画

## 話す・聞くことの指導

### 対話・話し合いの指導

学年	単元の構成	言語活動例
1年	これは、なんでしょう	二人で問題を出し合う。(対話)
2年	みんなできめよう	話し合いの仕方を確かめ、グループで話し合う。
3年	つたえよう、楽しい学校生活 [コラム]インタビュー	互いの共通点や相違点を考えながら話し合う。(司会者の役割、話し合いへの参加の仕方、インタビュー等)
4年	よりよい話し合いをしよう [コラム]話す言葉は同じでも	話し合いの進め方を考えて話し合う。(進行計画、司会者や参加者の配慮事項、話し方等)
5年	明日をつくるわたしたち [コラム]意見が対立したときには	テーマを設定して、計画的に話し合う。(目的、話題に沿う、自分の立場、時間、役割、説得力、相手の意見の理解等)
6年	学級討論会をしよう [コラム]伝えにくいことを伝える	立場を明確にして討論会を行う。(討論会の進め方、立場や主張、理由、質疑応答等)

※ 平成27年度版 光村図書より

## 話す・聞くことの指導

### 対話・話し合いの指導

#### <対話>

二人の間で交わされ、話し手と聞き手とが固定しない双方向性のあるやりとりを指す。

- 問答、対談、インタビュー など

#### <話し合い(会話)>

① ある結論を出すことを目的にした問題解決的な話し合い

- 会議、討論、討議 など

② お互いの考えを述べあい、考えを深め合う相互啓発的な話し合い

- 座談会や読書会 など

- ・コミュニケーション能力を高める上でも重要である。相手の思いや考えを受け止める態度も含めて指導する。学級づくりが土台である。
- ・話し合いのイメージや役割を明確にする。
- ・話し合いを記録し、ふり返る場が大切である。

話し合いの  
振り返り・評価

## 書くことの指導

指導事項の明確化

※指導要領解説「書くこと」系統表p132

課題設定  
取材

構成

記述

推敲

交流

書くことに関わる言語活動例

### ① 創作に関する言語活動例

- ・お話を書く(物語の創作)
- ・隨筆を書く
- ・鑑賞したことを書く
- ・詩を書く
- ・俳句や短歌を書く
- ・書きかえ(書き加える、書き直す)

### ② 報告、記録、意見に関する言語活動例

- ・報告文を書く
- ・意見文を書く
- ・観察文を書く
- ・新聞を書く

### ③ 説明、紹介に関する言語活動例

- ・説明文を書く
- ・図鑑を書く
- ・リーフレットを書く
- ・案内文を書く
- ・紹介のメモや文章を書く
- ・パンフレットを書く
- ・推薦書を書く
- ・宣伝書やポスターを書く
- ・発表資料を書く

### ④ 手紙に関する言語活動例

- ・手紙を書く
- ・依頼状を書く
- ・案内状を書く
- ・礼状を書く

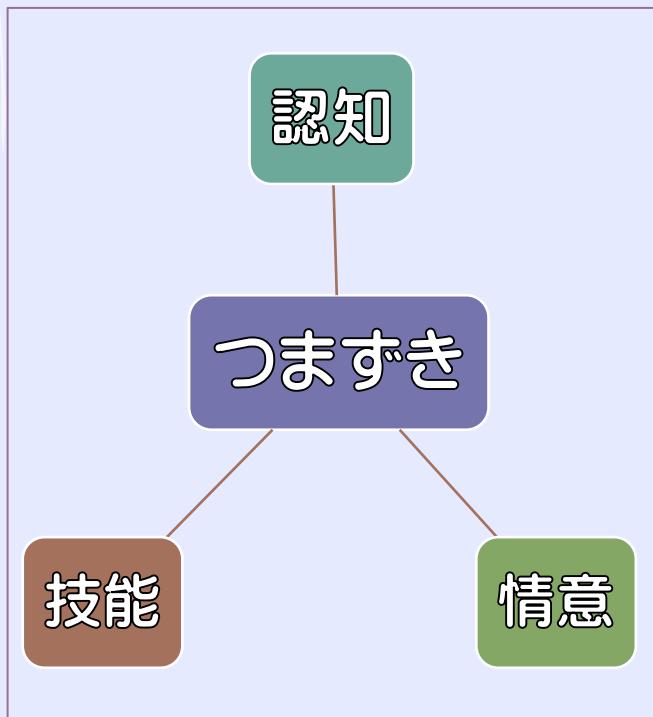
## 書くことの指導

学年	4~7月	8~12月	1~3月
1 年	名前・学年 単語 一文(主・述・修) 取材メモ 二文	観察文	手紙 体験報告文
2 年	報告・生活文 観察記録文 紹介文	物語 説明文	詩の創作 体験報告文
3 年	調査報告文 手紙文	説明・報告文 物語の創作	説明・報告文 考えをまとめた文章
4 年	新聞 意見文	説明・報告文 詩の創作	調査報告文 考えをまとめた文章
5 年	活動報告文	俳句の創作 提案する文章 説明・報告文	物語の創作 考えをまとめた文章
6 年	調査報告・推薦文	短歌の創作 意見文 解説文	隨筆

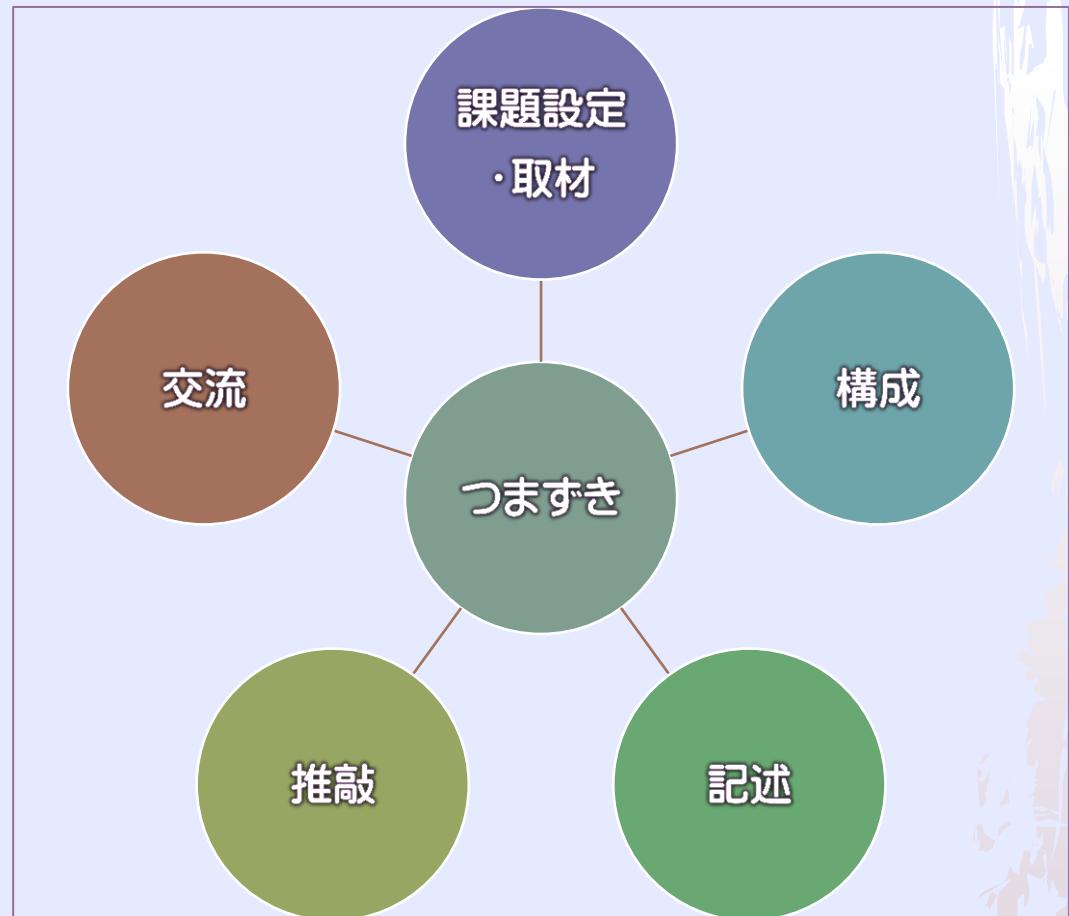
※ 平成27年度版 光村図書より

## 書くことの指導(つまずきをとらえる)

「認知・技能・情意」の3要素から



「指導事項」の5観点から



## 書くことの指導

### 「認知・技能・情意」の3要素からみる「書くことのつまずき」

(※ 以下の三要素は「書くこと」だけでなく「話すこと」など表現全般に当てはまる。)

#### (1) 情意面につまずきがある。

- ① 題材に興味を持っているか。
- ② 成功体験(上手に書けた等)を積んでいるか。
- ③ 相手意識や目的意識があるか。

#### (2) 認知面につまずきがある。

- ① 書く内容があるか。(書く材料を持っているか。)
- ② 書く内容を絞っているか。(最も楽しかったことなど)

#### (3) 技能面につまずきがある。

- ① 書き出しを考えて書くことができるか。
- ② つなぎの言葉を使って書くことができるか。「まず」「次に」「それから」「最後に」等)
- ③ 書く順序を考えて書くことができるか。
- ④ 全体の構成を考えて書くことができるか。
- ⑤ 表現の効果を意識して書くことができるか。

## 読むことの指導

### 指導事項の系統性の明確化

	音 読	効果的な読み方	説明的文章の解釈	文学的文章の解釈	自分の考えの形成・交流	読 書
低学年	語のまとめりや言葉の響き		時間的・事柄の順序 内容の大体	行動を中心 大事な言葉や文	内容と自分の経験とを結び付ける	楽しむ・知識を得ながら読む
	↓		↓	↓	↓	↓
中学年	内容の中心や場面の様子		段落相互の関係・事実と意見との関係	場面の移り変わり、人物の性格や気持ちの変化、情景	引用したり要約したりする 感じ方の違いに気付く	目的に応じていろいろな本を読む。
	↓		↓	↓	↓	↓
高学年	自分の思いや考え方伝える (朗読)	目的に応じ比べて読む	要旨を捉える。事実と感想、意見などの関係	人物相互の関係や心情、場面についての描写	考えを広げたり、深めたりする。	目的に応じ選んで、比べて読む。

## 読むことの指導

### 文学的文章に関する指導1

○ 教材や言語活動の系統性の明確化 ※ ゴシック体は新教材

学年	H27光村図書の教材	言語活動例
1年	はなのみち、おむすびころりん、おおきなかぶ、 <b>ゆうやけ</b> 、くじらぐも、ずうつと、ずっと、大すきだ よ、たぬきの糸車、だってだってのおばあさん	音読、読書(紹介)カード作り
2年	ふきのとう、スイミー、お手紙、わたしはおねえさ ん、スホホの白い馬	音読(劇)、感想(手紙)、紹介文(粗筋等)を書く
3年	きつつきの商売、 <b>もうすぐ雨に</b> 、ちいちゃんのか げおくり、三年とうげ、モチモチの木	音読、出来事の整理、感想文、 ポスター
4年	白いぼうし、一つの花、ごんぎつね、 <b>プラタナス の木</b> 、初雪のふる日	音読、感想(人物像)の交流、 紹介文(200字、一文等)
5年	あめ玉、なまえつけてよ、大造じいさんとガン、 百年後のふるさとを守る、わらぐつの中の神様	音読(朗読)、ポスター、ポッ プ、帯作り、描写を整理する
6年	カレーライス、やまなし[イーハトーヴの夢]、柿山伏、 海の命、かなえられた願い—日本人になること	音読(朗読)、感想文、推薦文、 描写を整理する、人物関係図、

## 読むことの指導

### 文学的文章に関する指導2

- 基本設定に目を付けて内容の大筋をつかむ。

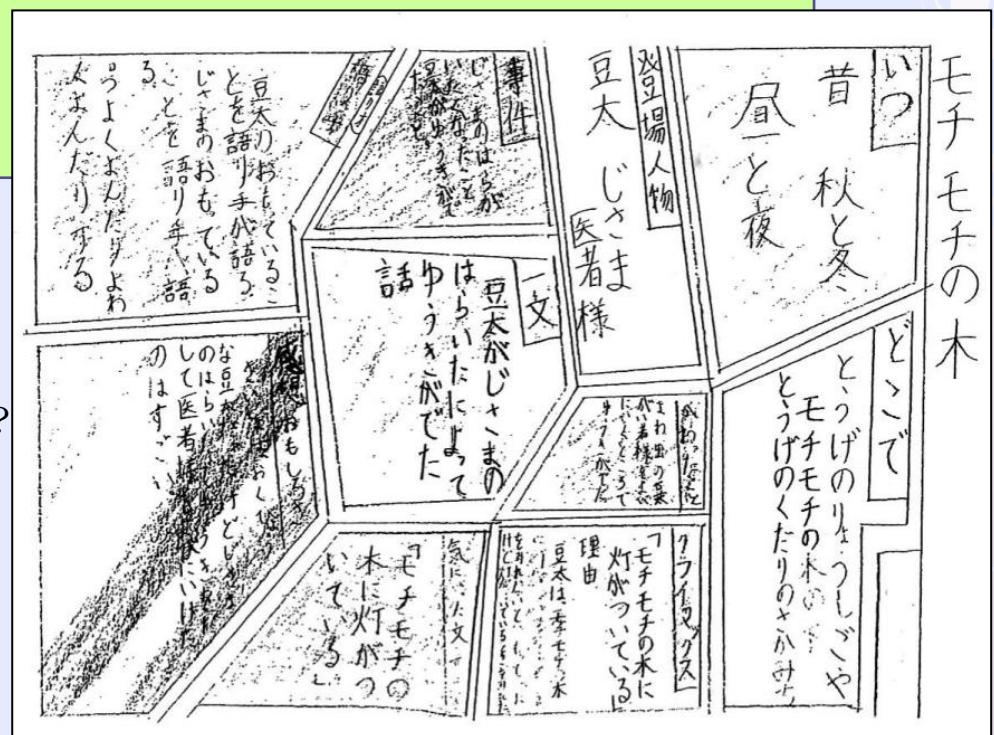
#### 【物語の5つの基本設定】

- ① 人物の設定(登場人物, 中心人物, 対人物など)
- ② 時の設定(年, 月, 季節, 時間など)
- ③ 場の設定(場所, 場面など)
- ④ 事件(主な出来事)
- ⑤ 結末



#### 【発問(問題)例】

- ① 人物設定
  - 誰が出てきますか? ○主人公は誰ですか?
- ② 時の設定
  - いつのお話ですか? ○季節はいつですか?
- ③ 場の設定
  - どこのお話ですか?
- ④ 事件
  - どんな事件(出来事)が起こりましたか?
- ⑤ 結末
  - 大きく変わったことは何ですか?



## 読むことの指導

### 文学的文章に関する指導3

- 作品の全体構造と関連付けて場面の移り変わりや人物の変容をとらえる。

#### 【物語の基本構造】

<導入部>

冒頭

<展開部>

発端

<山場の部>

山場の始まり

クライマックス

<終末部>

終わり

結末

場面や人物の  
設定

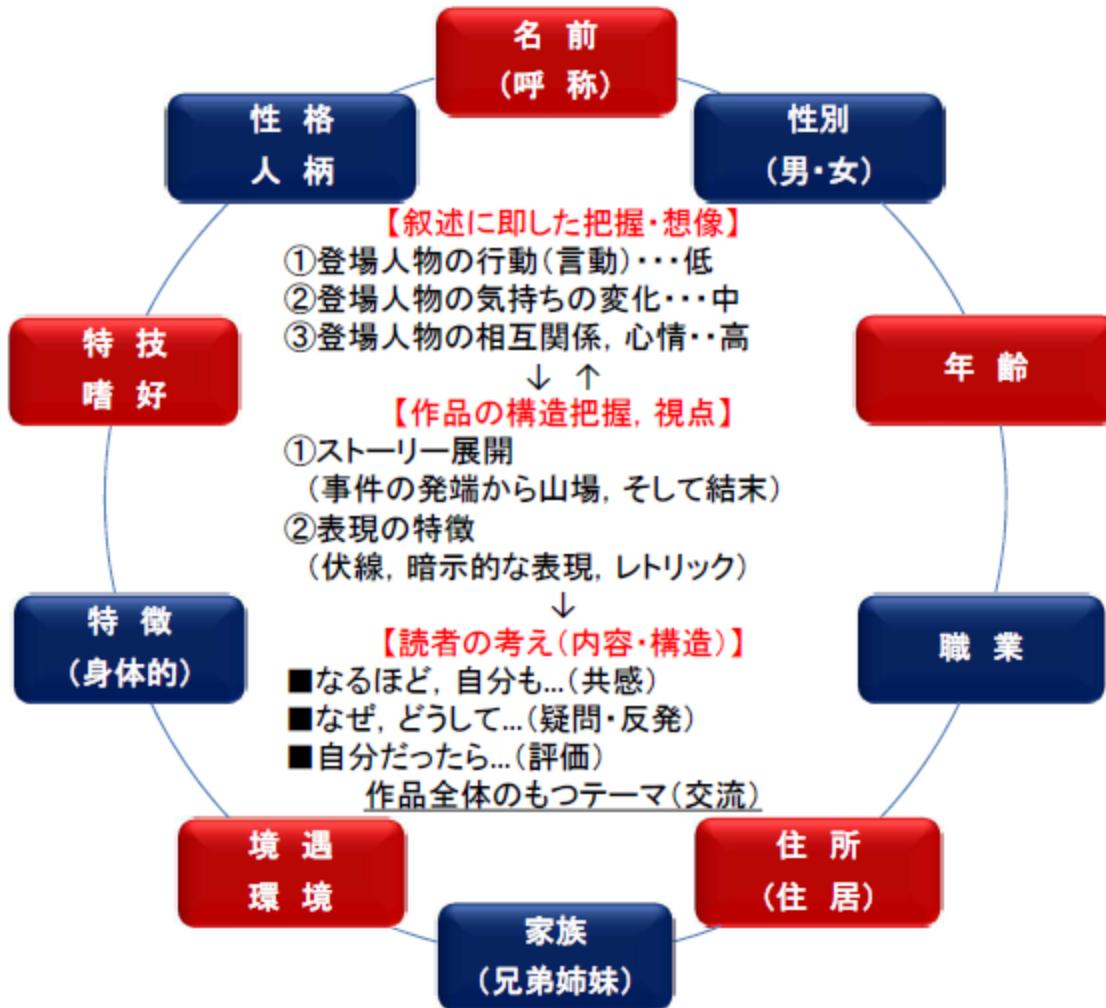
事件(出来事)  
登場人物の行動の変化

人物の心の変容・成長  
喜劇 ⇔ 悲劇

## 登場人物の人物像を捉えるために…

(例) 観点に基づいた叙述分析

叙述に即して捉えることを基盤にしながら、  
それらを巡っての想像を交流し、自分の考え  
を形成していくことが重要である。



## ○ 人物像や人物関係をとらえる。

授業アイディア例

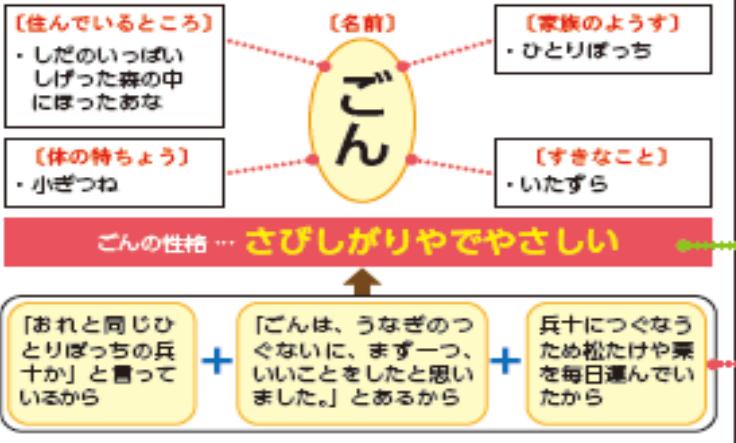
### 事例 1 物語を読み、人物像を捉える（対象：第3学年以上 例：ごんぎつね）

- ① 物語を読み、登場する人を順番に書き出す。  
中心となる登場人物（主人公）を確かめる。

- ② 叙述の中から、どのような人物かが分かる言葉を書き出し、観点ごとに整理する。

- ③ 登場人物の行動や会話を書かれている叙述を基に、人物の性格を話し合う。

#### 【きつねのごんの人物像を捉えるワークシートの例】



人物の性格を表す言葉を、みんなで集めてみましょう。



#### 性格を表す言葉

- ・やさしい・あまえんぱう
- ・勝ち気・よわよわしい
- ・がんこ・さびしがりや
- ・わがまま・おとなしい
- ・明るい・のん気・せっかち
- ・おっとり・おくびょう

根拠となる叙述を、複数取り出し、それらをまとめて説明することが大事！



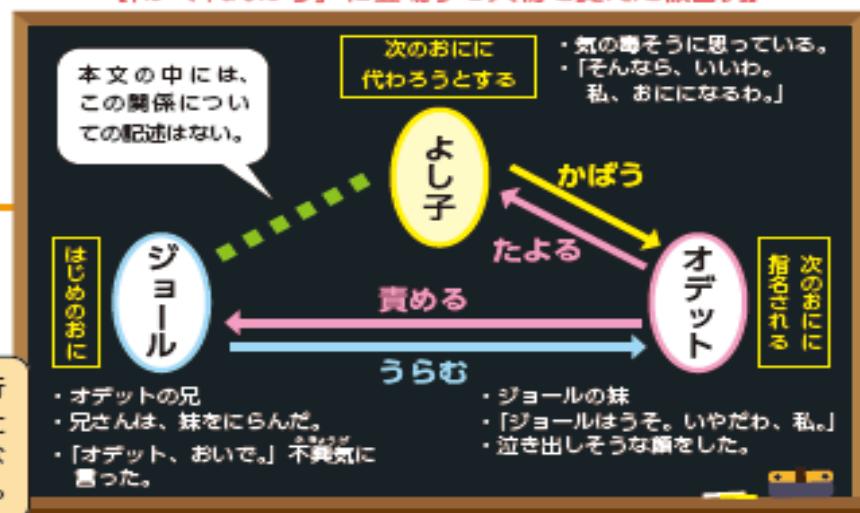
### 事例 2 登場人物の相互関係を説明する（対象：第5学年以上 例：A[5] かくれんぼう）

- ① 物語を読み、登場する人物像を捉える。

- ② 登場人物同士の関わり合いを叙述を基に捉え、関係図に表す。

- ③ 登場人物の相互関係を人物名のカードや矢印などを操作して関係図を基に説明し合う。

#### 【「かくれんぼう」に登場する人物を捉えた板書例】



登場人物の相互関係は、物語の進行に伴って変化していきます。そうした関係を、場面の移り変わりに注意しながら、叙述を基に説明し合いましょう。



## 読むことの指導

### 文学的文章に関する指導4

- 表現の工夫(描写)を読む。

#### 【表現の工夫】

##### ① 表現技法

(比喻・倒置・体言止め・情景描写・擬音擬態語・会話文など)

##### ② 対比(対になるもの, 場面と場面の対比等), 類比

##### ③ 視点(語り手, 一人称視点, 三人称視点)

#### 【発問(問題)例】

##### ◇ 表現(情景)

- この情景描写は, 登場人物のどんな心をあらわしているでしょう。

##### ◇ 表現(音・色)

- この色(音)から, どんなことをイメージしますか。

##### ◇ 対比

- この2つを比べて, どんなことに気づきますか。

##### ◇ 視点

- この語り手はだれですか。語り手はどこから見てていますか。

## 読むことの指導

### 文学的文章に関する指導5

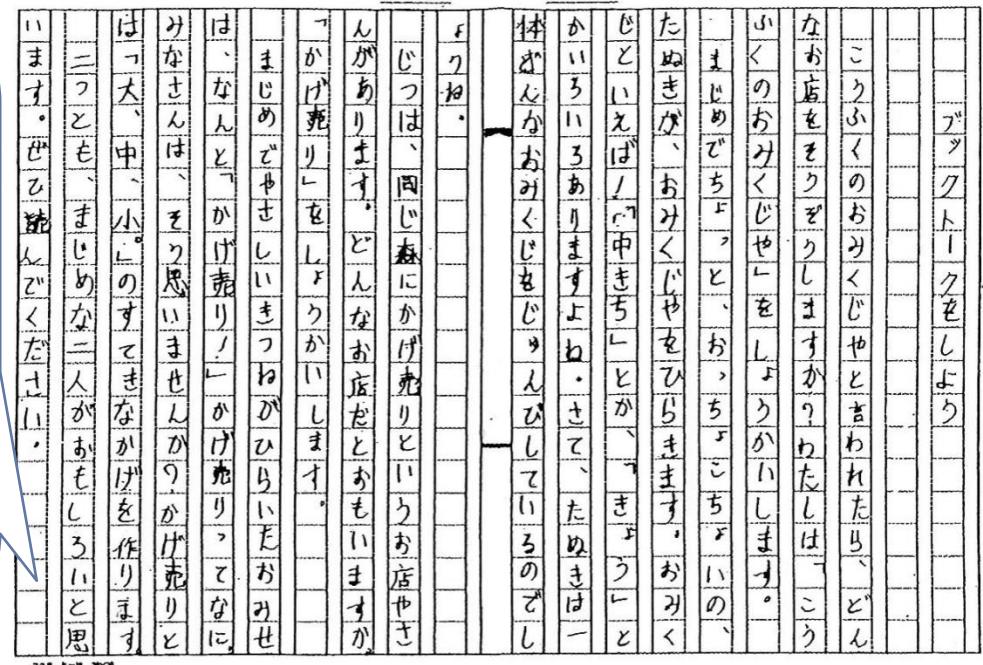
- 作品や作者に対する自分の思いを表出したり、豊かな読書生活を送ったりする。

#### 【文学的文章に関する指導で目指す姿】

- ① 作品と対話し、作品のよさやおもしろさ(読書の楽しさ等)を表現できる。
- ② さまざまな種類の文学に興味を持ち、読書の幅を広げることができる。

光村3年上「きつつきの商売」

原作:「森のお店やさん」  
きつつきの『おとや』  
たぬきの『おみくじや』  
はりねずみの『ぽけっとや』  
ぎんめつきごみぐもの『伝言板』  
きつねの『かけ売り』  
かみきりむしの『空のおふねや』  
もぐらの『おやおやや』



## 読むことの指導

### 説明的文章に関する指導1

- 教材や言語活動の系統性の明確化 ※ ゴシック体は新教材

学年	H27光村図書の教材	言語活動例
1年	くちばし うみのかくれんぼ じどう車くらべ どうぶつの赤ちゃん	音読、読書、図鑑作り (紹介)カード作り、感想を書く
2年	たんぽぽのちえ どうぶつ園のじゅうい しきけカードの作り方 おにごっこ	音読、読書、感想を書く、紹介する(書く)、説明文を書く
3年	言葉で遊ぼう こまを楽しむ すがたをかえる大豆 ありの行列	音読、(遊び方、動き方、調べたことなど)を書く(紹介する)感想を書く、つながりを読む
4年	大きな力を出す 動いて、考えて、また動く アップとルーズで伝える ウナギのなぞを追って	音読、引用して書く、リーフレット作り、要約する
5年	見立てる 生き物は円柱形 天気を予想する 想像力のスイッチを入れよう	音読、要旨をまとめる、図表を活用して書く、事実と感想・意見を区別して読む(書く)
6年	笑うから楽しい 時計の時間と心の時間 「鳥獣戯画」を読む 自然に学ぶ暮らし 生き物はつながりの中に	音読、要旨をまとめる、筆者の主張(見方考え方)に対して自分の考えを書く

## 読むことの指導

### 説明的文章に関する指導2

- 「順序」や「問い合わせ」に気をつけて、内容を正確に読む。

#### 【説明文の読みのための目のつけどころ5つ】

##### ① 題名

- 内容に関するもの（「どうぶつの赤ちゃん」、「ありの行列」など）
- 筆者の最も述べたいことに関するもの（「アップとルーズで伝える」「想像力のスイッチを入れよう」など）

##### ② 順序（はじめに、次に、一つ目は、二つ目は、など）

##### ③ 問いと答え

- 「問い合わせ」を意識して読む。
- 「問い合わせ」が書いていない説明文もある。その場合は「語りかけの文」を「問い合わせ」の文に書き換える。

##### ④ 形式段落

（1字下がっているのでとらえやすい。まとまりを意識させる。）

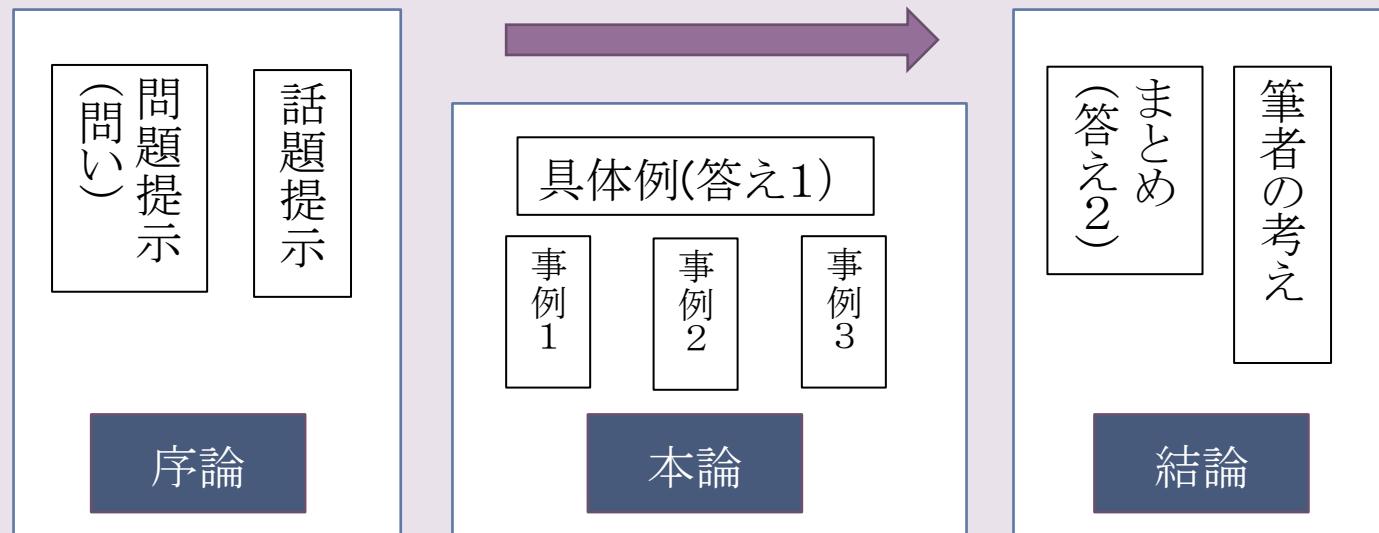
##### ⑤ くりかえし出てくる言葉（キーワード）

# 読むことの指導

## 説明的文章に関する指導3

- 文章構成や説明の工夫をとらえ、論理を読む。

### 説明文の基本的な文章構成】



- 問題提起 → 説明 → 結論 (尾括型・おしり型)
- 結論 → 説明 → 説明 (頭括型・頭型)
- 結論 → 説明 → 結論 (双括型・サンドイッチ型)

## 読むことの指導

### 説明的文章に関する指導4

- 筆者の主張を明確にして読む。

#### 筆者の主張を明確にするポイント

- ① 事実と感想、意見の区別
- ② 具体(たとえば…)と抽象(つまり…)の区別
- ③ 要旨をまとめる。

#### 【事実と感想を区別する】

- 次の2つの文章で事実が書いてあるのは、A、Bどちらの文章ですか。

A：ジョージ・ワシントンは、アメリカ合衆国の初代大統領である。

B：ジョージ・ワシントンは、アメリカ合衆国歴史上最も偉大な大統領である。

#### 【要旨をまとめる】

- ① 問いの文を見つける、またはつくる。(問い合わせない場合は、問い合わせの文を作る。)
- ② 問いに対する答えの文をつなぎ合わせる。(5年「生き物は円柱形」)

例：(なぜ、生き物は円柱形と言えるのか。筆者はどう感じているのか。) → 抽象的な部分を探す。

生き物は、多様な中にも「生き物は円柱形だ」という共通点がある。円柱形は、強くて、速い性質があるので、生き物の体の基本となる。多様さを知るとともに、その中から共通性を見いだし、なぜ同じなのかを考えることはおもしろい。

→ 要旨に問い合わせの文や事例を加えれば要約となる。

「要旨」は「筆者が述べたいことの中心」

「要約」は「元の文章の内容を、筆者の意図に沿って短くまとめるもの」

## 読むことの指導

### 説明的文章に関する指導5

- 筆者の主張に対して、自分なりの考えを明確にして読む。

#### 自分の考えを明確にするポイント

- ① 自分の体験や知識と結びつけて考える。
- ② 同じテーマ(違うメディア)の文章と比較して読む。
- ③ 表現の妥当性や適切さを判断する。(クリティカル・リーディング)

- 書くことの重視(理解と表現の一体化)

「よくわからない」「おかしい」

「どうすればわかりやすいか」「どのようにすれば適切か」



- 「論理」を問う発問づくり  
「どのような説明の工夫がありますか。」(5年  
天気を予想する)  
「『見る』ではなく、『読む』とはどういうこと  
ですか。」(6年 「鳥獣戯画」を読む)

- 集団思考の場の提供  
個 (意見・疑問・つまずき等)



集団 (比較・対立・共感等)

- 複数教材による重ね読み・比べ読み

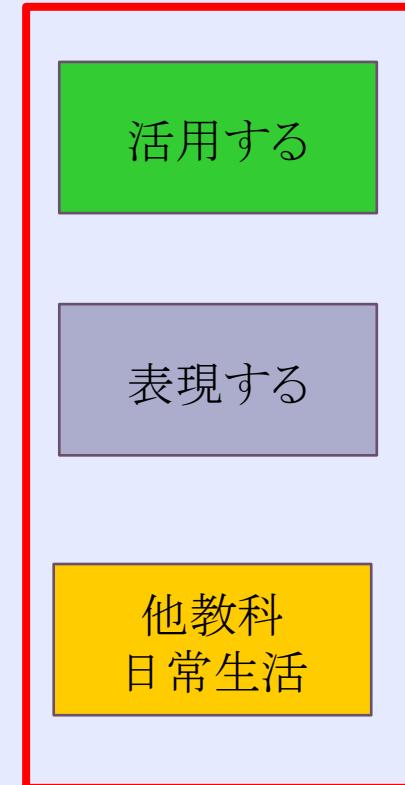
類似性や相違性のある教材  
(テーマ、筆者、構造 等)

## 「活用力」を育てるために

分かる



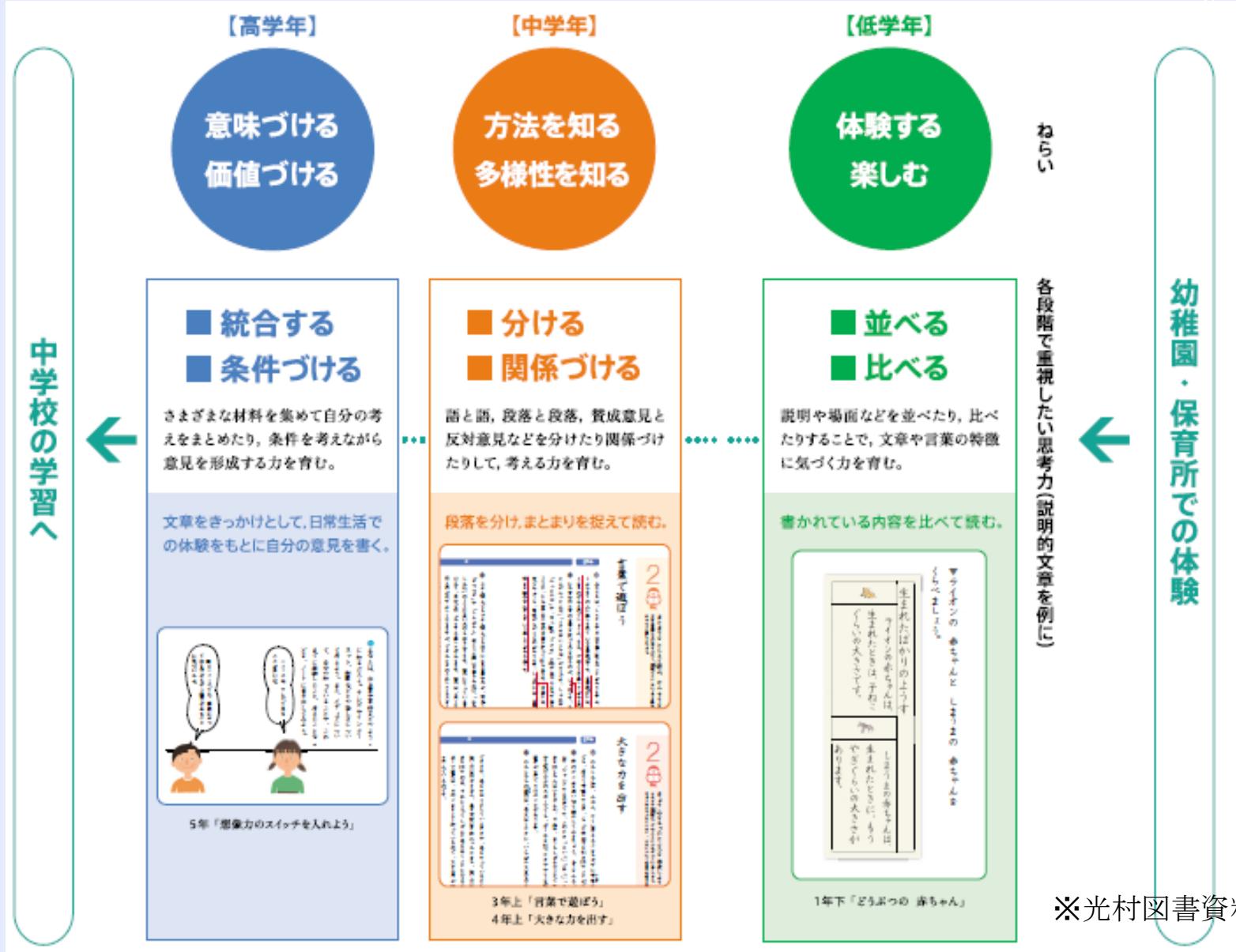
- ※ 説明文の二教材構成
- ※ 「読む」から「書く」へ
- ※ 調べる(辞書、図鑑等)
- ※ まとめる(報告書等)



使える

思考力を育む授業の充実

## ◇ 発達に応じた思考力を考える



## ◇ 光村図書が考える思考の系統表(低学年)

※ 光村図書資料より

表す	◇想像(●想像を広げる) ◇言葉化(●日本語で表記する●性質、様子、出来事、体験、気持ちを言葉で表す)
選ぶ	◇特定(●経験を特定する) ◇収集(●楽しむため、知識を得るために、伝えるために集める)
繋げる	◇順序(●語と語、文と文の順序) ◇推移(●物事の変化)
対比する	◇列挙(●同種事物の列挙) ◇共通と差異(列挙された事物を比べる) ◇問い合わせ(●簡単な問い合わせを発する ●問い合わせに答える) ◇主張と理由(●理由を挙げる) ◇具体と抽象(●上位概念や見出しがいえる)
全体と部分	◇要点(●大事な言葉や文、内容の大体) ◇分類(●簡単な分類をする) ◇構成(●簡単な構成)
調節する	◇状況把握(●相手に応じる) ◇効果(●はっきり音読する) ◇評価・校正(●間違いに気づき、正す) ◇モニタリング(●話題に沿って話し合う)
深める	◇意見構築(●文章内容と自分の経験を結び付ける ●読み合い、よいところを見つける ●感想を伝える)

## ◇ 光村図書が考える思考の系統表(中学年)

※ 光村図書資料より

表す	◇想像(●想像を広げる) ◇言葉化(●図柄、聞き取った内容、用例、発見を言葉で表す)
選ぶ	◇特定(●関心事を特定する) ◇収集(●相手と目的に応じて集める)
繋げる	◇順序(●筋道) ◇推移(●場面の移り変わり)
対比する	◇列挙(●事例の列挙) ◇共通と差異(他者と自分を比べる) ◇問いただしと答え(●問い合わせをする ●問い合わせに合う答えをつくる) ◇事実と解釈(●事実と意見を区別する ●目的に応じた引用をする) ◇主張と理由(●目的、相手に応じて理由を挙げる) ◇仮説検証(●仮説検証を理解する) ◇具体と抽象(●目的、相手に応じて事例を挙げる)
全体と部分	◇要点(●中心となる語や文 ●文章の要約 ●メモ) ◇分類(●特定の観点から分類する) ◇構成(●段落相互の関係 ●調査の目的・方法・結果 ●帰納的文章の型 ●物語の構成 ●割り付け)
調節する	◇状況把握(●相手と目的に応じる) ◇効果(●中心が分かるように音読する ●場面の様子が分かるように音読する) ◇評価・校正(●間違いを正す ●よりよい表現にする) ◇モニタリング(●進行に沿って話し合う ●司会や提案などの役割を知り、果たす)
深める	◇意見構築(●意見や感想を述べ合う ●質問をする)

## ◇ 光村図書が考える思考の系統表(高学年)

※ 光村図書資料より

表す	◇想像(●想像を広げる) ◇言葉化(●一連の活動、思い、理解、解釈を言葉で表す)
選ぶ	◇特定(●主張を特定する) ◇収集(●目的に応じて多数集める)
繋げる	◇推移(●成長の過程)
対比する	◇共通と差異(情報どうしを比べる) ◇問い合わせ(●目的に応じた問い合わせ) ◇事実と解釈(●引用して解釈する) ◇主張と理由(●効果的な理由を挙げる ●グラフや表を引用する) ◇仮説検証(●仮説検証を使って説得する方法を理解する) ◇具体と抽象(●複数の事例から主張を導く ●体験・見聞を事例に使う)
全体と部分	◇要点(●目的に応じた要旨) ◇分類(●全体に事柄を整理する) ◇構成(●複雑な構成 ●見出し・要約文・本文 ●編集)
調節する	◇状況把握(●場に応じる) ◇効果(●思いや考えが伝わるように朗読する ●目的に応じた表現をする ●引用や図表を用いて考えを伝える ●構成の効果を理解する) ◇評価・校正(●表現のしかたを助言し合う) ◇モニタリング(●計画的に話し合う)
深める	◇意見構築(●文章から考えを広げたり深めたりする ●優れた叙述について考えをまとめる ●考えを明確にする ●他者と比べて意見をまとめる)

## 〈参考文献〉

- 新訂国語科教育学の基礎(渓水社)
- 白石範孝の国語授業の教科書(東洋館出版社)
- 白石範孝の国語授業の技術(東洋館出版社)
- 光村図書 編集の趣旨と特色
- 光村図書の「国語」～私たちは教科書をどう考え、どう編集したか～
- 全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会資料(国立教育政策研究所)
- 全国学力・学習状況調査 授業アイディア例  
（平成21～27年度 国立教育政策研究所）
- 小学校学習指導要領解説 国語編(文部科学省)
- 中学校学習指導要領解説 国語編 (文部科学省)

# 国語科指導のポイント

県南教育事務所